

河津にツキノワグマ

伊豆市境付近
シカ用わなに

県、錯誤捕獲で放つ

河津町梨本の国有林

内で20日、二ホンジカ用のくくりわなに掛かつたツキノワグマが見つかつた。県によると誤認捕獲だつたため、その場で放つたといふ。

同日午前11時ごろ、伊豆森林管理署と環境省下田管理官事務所から県賀茂農林事務所にクマ確認の連絡があつた。農林事務所や町職員らが見つ

真らが現場に向かつたところ、同管理署が設置したわなにクマが掛かっていた。体長は約120cmで、雄とみられ外傷はなかつた。場所は伊豆市との境の二本杉峠付近。



河津町の国有林内で見つかったツキノワグマ(提供写真)

町職員ら 発見、連絡

河津町の関係者によ

るところ、ツキノワグマはトレイルランニングレース「天城アタック35」に向け遊歩道整備に当たつていたボランティアや町職員らが見つ

けではないため、日常生活で過度に警戒する必要はない」としつつ、全国的にクマの出没が増え、人身被害も過去最多となつてゐることから▽山に入る時は鈴やラジオ、笛を用意して自分の存在をアピールする▽山に入った際に出たごみは必ず持ち帰る▽クマの活動が活発な早朝や夕方の入山を避ける▽などの対策を呼びかけてい

音を立てず反対側に逃げ▽距離が近かつたら刺激しないように落ち着いて背中を見せずに後ずさる▽攻撃してきたらくぼ地などに腹に回つて、県によると本年度県内のクマ出没件数は9月までに32件で、前年

また遭遇した時の対応として▽50m以上離れていたら落ち着いてみ、両肘で顔を守る――意して自分の存在をアピールする▽山に入つた際に出たごみは必ず持ち帰る▽クマの活動が活発な早朝や夕方の入山を避ける▽などの対策を呼びかけてい音を立てず反対側に逃げ▽距離が近かつたら刺激しないように落ち着いて背中を見せずに後ずさる▽攻撃してきたらくぼ地などに腹に回つて、県によると本年度県内のクマ出没件数は9月までに32件で、前年

ばいになり、両手を首筋の後ろでしつかり組み、両肘で顔を守る――意して自分の存在をアピールする▽山に入つた際に出たごみは必ず持ち帰る▽クマの活動が活発な早朝や夕方の入山を避ける▽などの対策を呼びかけてい音を立てず反対側に逃げ▽距離が近かつたら刺激しないように落ち着いて背中を見せずに後ずさる▽攻撃してきたらくぼ地などに腹に回つて、県によると本年度県内のクマ出没件数は9月までに32件で、前年

ムページにクマ出没情報報を掲載し、注意を呼びかけている。